

みんなで自助・共助を意識づけ



消火ホースを手にする子どもたち「思った以上に重い」と驚きの表情を浮かべていました。



貞山小学校



- ①避難指示発令を受けて防災訓練開始。小走りで避難所に向かいました。
- ②山下中学校の生徒は自衛隊と協力し、炊き出し訓練を行いました。

「自分の命は自分で守る。みんなの命は地域で支える」をスローガンに、平成28年度石巻市総合防災訓練が10月23日(日)、市内一斉に行われました。三陸沖を震源とする大地震が起き、太平洋沿岸に大津波警報が発表されたと想定して、市指定の緊急避難場所や高台に避難する「ステージ1」、その後、地域の自主防災会や学校が企画した災害応急訓練の「ステージ2」に移行し、参加した市民一人ひとりが自助と共助の意識を高めました。

市内一斉総合防災訓練 世代超えて命守る行動確認



広瀬小学校

はしご消防車やさまざまなタイプの消防車を展示。子どもたちは普段近くで見ることができない車両に興味深く見学していました。



▲広瀬地区では、第1次避難(その場で身の安全を守る)の後、第2次避難として各地区の避難場所へ避難。その後、第3次避難として広瀬小学校に集まりました。



▲はしご消防車による救護避難訓練では、伸びるはしごの高さに驚きの声が上がりました。



①



渡波小学校



- ①津波が来た事を想定して、学校の屋上へ避難訓練を行いました。
- ②消防車を間近で見学しながら、真剣に話を聞いている子どもたち。
- ③男の子も女の子も協力してバケツリレーを行いました。

電気自動車を活用した防災訓練 (吉野町復興住宅)



太陽光エネルギーを活用した電気自動車充電システムの利用講習、避難所シミュレーションが行われました。



①

- ①校庭に集まった人々を対象に避難者名簿を作成。地域住民が一体となり防災意識を高めました。
- ②体育館で組み立て式のトイレメントの設置等を体験し、避難所運営に必要な知識を学びました。
- ③有事には町内会で声を掛け合い、助け合って行動することを確かめました。



②



③

向陽小学校